

2026 差別をなくす強調月間イベント

映画「35年目のラブレター」



精一杯の愛でした。

その手紙は、

35年目のラブレター

心温まる感動の実話

読み書きできない夫 と 幸せを覚えてくれた妻が歩んだ人生

CAST

笑福亭鶴瓶 原田知世
重岡大毅 上白石萌音
徳永えり ぎい子 辻本祐樹 本多力
江口のりこ 瀬戸琴楓 白鳥晴都 くわばたりえ
笹野高史 安田顕

監督・脚本：塚本連平 音楽：岩代太郎

©2025「35年目のラブレター」製作委員会

日時.. 2026年

7月25日 (土)

受付..
開会..

13時30分
13時00分

場所.. かしはら万葉ホール 5階 レセプションホール

入場無料

【当日参加可】

問い合わせは

榎原人権ネットワーク事務局

(榎原市役所人権政策課 TEL.0744-21-1090)

主催：榎原人権ネットワーク

『君は、僕と結婚して、 幸せでしたか?』

西畑保、65 歳。文字の読み書きができない。そんな彼の側にはいつも最愛の妻・餃子がいた。

保は貧しい家に生まれ、ほとんど学校へ通えず大人になった。生きづらい日々を過ごしてきたが、餃子と運命的に出会い、めでたく結婚。しかし、その手放したくない幸せ故に保は読み書きができないことを言い出せずにいた。半年後、ついにひた隠しにしてきた秘密が露見し別れを覚悟する保だったが、餃子は保の手を取りながらこう告げた。

「今日から私があなたの手になる」その言葉に、その眼差しに、保は救われた。

どんな時も寄り添い支えてくれた餃子へ感謝のラブレターを書きたい。定年退職を機に保は一大決心し夜間中学に通い始める。担任の谷山恵先生のじっくりと粘り強い教えや年齢・国籍も異なる同級生たちと共に学ぶ日々で少しずつ文字を覚えていく保。だが老齢のため物覚えも悪く、気付けば5年以上の月日が経過した頃、一字また一字と書いては消した書くひたむきな保と、それを見るときもなく見守る餃子は結婚 35 年目を迎えていた。変わらない日常がいつまでも続くと思っていた。なかなか書き上げられずにいたラブレターがようやく形になろうとしていた頃、餃子が病魔におそわれて……。